

FUKU-FUKU



横山隆一記念まんが館 特別企画展

伝「やなせたかしと横山隆一」展

伝「やなせたかしと横山隆一」展

2025 **3.8日 - 8.31日**

会場 横山隆一記念まんが館企画展示室
 開館 9:30~17:30(最終受付17:00)
 休館日 月曜休館(祝日の場合は開館) 6月3日~6日は一部展示替えのため休館
 観覧料 一般500円/中学生300円/小学生200円 ※常設展示と共通
 ※65歳以上の高齢者、身体障害者手帳(1、2級)、療育手帳、児童福祉法第11条の2第1項第1号の障害者(1号)は、別途割引あり
 ※65歳以上の高齢者、身体障害者手帳(1、2級)、療育手帳、児童福祉法第11条の2第1項第1号の障害者(1号)は、別途割引あり

この企画展と
 香美市立やなせたかし記念館と
 両方ご覧いただける方に
 ちよっとプレゼント。

開催期間: 2025年8月31日まで
 やなせたかし記念館で当企画展と併せて開催いたします。

どぶり高知 旅 SUPER LOCAL KOCI
 おまけ館

3月8日から開催中の伝「やなせたかしと横山隆一」展。6月第1週は展示替えのため一時休止していましたが、いよいよ後半が始まりました。この企画展は、現在放送中のNHK朝の連続ドラマ「あんぱん」にちなみ、高知の生んだ二人のまんが家、昭和のアイドルフクちゃんの横山隆一と、平成からの国民的キャラクターアンパンマンのやなせたかしをテーマにしています。

二人は、旧制城東中学校(現・高知追手前高校)の同窓生で隆一が九学年上、やなせたかしは、中学時代に、高知で開催された隆一ら新漫画派集団の展覧会を見たことや、隆一の妻の弟が同級生であった縁から、「まんが家の生活」に興味を抱き、将来の職業の選択肢として「まんが家」を考え始めたといえます。地元高知を若くして離れた隆一ですが、母校の刊行物に寄稿したり地元新聞で連載を持っていたりと、高知

との関係はずっと続いています。隆一を高知につなぎ続けた人物のひとりには、隆一の親しい中学の先輩であり、やなせたかしの上司だった人物です。このように、隆一とやなせたかし二人の人生には、同じ人物がそれぞれ異なる関係性で登場します。

企画展では、二人の人生を年表で解説。二人の旧制中学時代の写真や、卒業後の母校とのつながりを紹介しています。やなせたかしの初期の仕事については、彼が高知新聞で編集を担当していた「月間高知」から三越宣伝部を経て、フリーになってからの実績や、高知県文化人南風の会の雑誌「南風」(今では日本中の人が知る歌「手のひらを太陽に」の誕生など、パネルや実物を展示しています)。

「1973年に3つのことがほとんど同時にスタートした。その後のすべてはこの年に始まった」とやなせたかしは「アンパンマンの遺書」に書き記しています(183P)。岩波現代文庫2013)。3つのこととは、「詩とメルヘン」の創刊、漫画家の絵本の会、アンパンマン絵本の誕生です。これらの原画・実物を展示し、自伝の引用による解説を試みました。

そのほか、「公財」やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団からお借りしたアンパンマンの原画、高知県から依頼を受けて制作した高知の風景・風物をテーマにした作品、高知県内にたくさんいるやなせたかしのキャラクター紹介や、全国高等学校漫画選手権大会(まんが甲子園)と横山隆一記念まんが館主催の「4コマまんが大賞」との関わりを紹介し受賞作なども展示しています。

高知を代表するまんが家の二人のつながりにスポットをあて、彼らの自伝をもとに故郷高知ならではの作品を紹介する今回の企画展。

ぜひご覧ください。

フクちゃん 横山隆一 (1968年)

又事業に
しつぱい
したって
?!

そふゆたり
だしたんです

めしでも
かえれよ

はー

記念
つもち
明治の
米だ

すいぶん
いろいろ
古米です
ね

十年まの
はすのみだ
花がさく
古米をく
ふとさか
おくれ

- 開催期間 ● 開催中～8月31日(日)
 時間 ● 9:30～17:30(最終入場は17:00まで)
 休館日 ● 月曜日 ただし祝日・振替休日は開館
 観覧料 ● 一般500円(400円)、中学生300円(240円)、小学生200円(160円)
 ※常設展と共通チケット
 ※()内は団体(20名以上)または、学校利用料金
 ※65歳以上の方及び身体障害者手帳(1、2級)、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方とその介護者1名は半額料金
- 主催 ● 高知市 横山隆一記念まんが館
 主管 ● 公益財団法人高知市文化振興事業団
 共催 ● 香美市立やなせたかし記念館

行事案内
INFORMATION

第21回
まんがの日
記念

作品募集中

4コマまんが大賞

「フクちゃん」を代表作とする横山隆一が4コマまんがの名手であったことや、ストーリーまんがが全盛の時代に起承転結を基本とする4コマまんがの良さを見直していこうという趣旨のもと、故やなせたかしさんのご支援をいただき2005年に始まったこの賞も、今回で21回目となります。審査は高知のまんが家、矢野徳さん、くさか里樹さんが務めます。

4コマという世界の中に、日常生活の中の発見や驚き、時事あるいは自身の空想を収めてみませんか。みなさんの力作をお待ちしております。

部 門	一般部門（中学生以上）・ジュニア部門（小学生以下） *プロ・アマ不問
応募規定	・白黒またはカラーの4コマまんが（肉筆原稿） ・用紙：B4判（縦25.7cm×横36.4cm）の市販のケント紙、画用紙、まんが用原稿用紙など ・作品：縦32cm×横10cmの「縦4コマ」形式 ・自作の未発表作品に限る ・1人につき3点以内 ・A1の使用や共同作品は不可 *詳細はまんが館ホームページをご覧ください。
締 切	9月5日（金） 消印有効
発 表	10月下旬 まんが館ホームページ・館報「FUKU-FUKU」でも発表
表 彰 式	12月開催予定の「入賞作品展」開催中に実施予定

《賞金・記念品》

賞（点数）	一般部門	ジュニア部門
フクちゃん大賞（1点）	賞状・賞金 50万円	賞状・図書カード2万円
高知市長賞（1点）	賞状・賞金 10万円	賞状・図書カード1万円
やなせ宛賞（1点）	賞状・賞金 10万円	賞状・図書カード1万円
よさこい賞（3点）	賞状・賞金 各5万円	賞状・図書カード各5千円
学 校 賞（2校）	-	賞状・トロフィー

応募・お問い合わせ先

〒781-0952 高知市九反田2-1
高知市文化プラザかるぼーと内 横山隆一記念まんが館
TEL:088-8833-5029
FAX:088-8833-5049
URL:https://www.kica.jp/mangakan/

行事案内
INFORMATION

先生注目！
教員のための博物館の日
in 横山隆一記念まんが館

「教員のための博物館の日」は、先生と博物館の（心の？）距離を縮め、授業や学習に役立ててもらおうきっかけづくりのため、平成20年に国立科学博物館で始まった取り組みです。

今回横山隆一記念まんが館では、8月下旬の1週間開催。内容は、展示の観覧（19日、21日は展示解説あり）、21日は元教員で「高知漫画グループくじらの会」会長の橋村政海さんを講師に迎えて、「絵が苦手な先生のための、簡単イラスト講座」を開催します。そのほか授業へのまんが館の活用方法の相談なども受け付けています。

展示の観覧のみであれば、お申し込みは不要です。期間中お好きなときにお越しください。展示の解説が必要な場合と、講座への参加、相談は、8月12日（火）までにメール、電話、FAXでご予約をお願いします。

日 時 ●2025年8月19日（火）～24日（日）
のうち、お好きな日程
常設展示解説日 ●19日（火） 10:00～11:00
（要予約） 21日（木） 15:30～16:30
講 座（要予約） ●21日（木） 13:30～15:00
対 象 ●幼保・小・中・高・特別支援学校の教職員
ご予約 ●メール、電話、FAX



橋村さんの講座の様子



昨年の様子

行事案内
INFORMATION

2025夏休み
まんが体験イベント
めざせ！まんが職人

夏休みの小学生対象の大人気まんが体験イベント「めざせ！まんが職人」を今年も開催！箱を動物園や水族館に見立てて様々ないきものを描く「まんが動物園」や「まんが水族館」、「ミニ植木鉢にまんがを描く「まんが風鈴」のほか、つりあげるとガブツ！とくいく「まんががぶりん恐竜」や「まんが石けん」「まんが万華鏡」など6つのコースからひとつを選んで工作に挑戦しよう！申し込みは「まんが体験イベント申し込みフォーム」から受け付けます。（QRコードを読み込むか、まんが館のWebサイトからもアクセス可能。）まんがの発想やユーモアを取り入れて、世界にひとつだけの作品を作ろう！できあがった作品は夏休みの宿題にもできるかも。

タイトル	開催日	講師
まんが風鈴をつくろう！	7月29日（火）	小笠原まき先生
まんが万華鏡をつくろう！	7月30日（水）	中西奈穂子先生
まんががぶりん恐竜をつくろう！	8月2日（土）	おかもとあつし先生
まんが石けんをつくろう！	8月3日（日）	高橋昌美先生
まんが水族館をつくろう！	8月15日（金）	山北三砂子先生
まんが動物園をつくろう！	8月16日（土）	岩神義宏先生

開催場所 ●横山隆一記念まんが館まんがライブラリー-2
対 象 ●小学生
定 員 ●各コース30名
参 加 費 ●500円（材料費含む）



お申し込みフォームから、①希望コース番号②児童氏名③ふりがな④学校名⑤学年⑥メールアドレス⑦日中連絡が取れる電話番号を入力の上、お申し込みください。締め切りは7月6日（日）です。定員を超えた場合は抽選により参加者を決定しますので予めご了承ください。



↑お申し込みフォームはこちら

ミニテーマ展示コーナー 「寄贈品お蔵出し」

2020年～2024年の中から

まんが館の4階常設展示室にミニテーマ展示コーナーを設けています。不定期に展示替えを行っており、今回は6月までの展示「寄贈品お蔵出し」を紹介いたします。

昭和から平成にかけて、日本のまんが家のトップスターとして、約70年間にわたる活躍した横山隆一が、約70年間にわたる創作活動のなかで知人友人に送った作品、販売した作品、配布されたグッズ等、多くの人の手元に残されています。

そして当館の存在を知った方から、「ここで保存・活用してもらえれば」とそれらの寄贈を受けることがあります。また、隆一関連のもの以外でも、高知のまんがに関係する作品・資料の寄贈もあります。その中で今回は2020年～2024年に寄贈を受けた作品・資料の中から一部を展示しています。

寄贈いただくにあたり、隆一との関係等も併せてお伺いしますが、それぞれに思いがあり、作品資料と合わせて後世に伝えていきたいと改めて思われます。

次回7月頃からは「隆一カメラコレクション」を紹介する予定です。おたのみ。

作品・資料	作者
富士の巻狩り (漫画集団結成50周年記念展出品)	横山隆一
石原慎太郎 肖像画	横山隆一
熱帯魚 水彩画	横山隆一
神奈川県交通安全協会テレフォンカード原画 [上をむいて歩く]	横山隆一
神奈川県交通安全協会テレフォンカード原画 [祝50年]	横山隆一
毎日新聞 西部本社制作 隆一デザインゆかた生地	横山隆一
日赤カレンダー用スケッチ	横山隆一
サイン入り扇子 1951.8.7	横山隆一・山六郎
画・文入り扇子 1953.8.10	川島三郎
2016高知ケイリンよさこい賞争覇戦 (GⅢ) ポスター使用 龍馬イラスト原画	正木秀尚
2016高知ケイリンよさこい賞争覇戦 (GⅢ) ポスター使用キャラクター イラスト原画	正木秀尚
フクちゃん人形	
フクちゃん かるた	
神奈川県交通安全協会テレフォンカード 横山家使用 かき氷機	



こども音楽会に 参加しました!

3月2日(日)に四国銀行ホールで開催された「かるぽーとこども音楽会」に、まんが館からフクちゃん着ぐるみと缶バッジづくりのワークショップで参加しました。

開場時間になると、入ってくる子ども達やご家族をフクちゃん着ぐるみがお出迎え。手を振ったり、ハイタッチをしたりと楽しくふれ合う様子が見られました。アンコールの演奏では、ステージにも登場して会場をさらに盛り上げました。

オリジナル缶バッジを作るワークショップでは、休憩時間や終演後に約30名の子ども達が参加。自由な発想でイラストを描き、それぞれ個性あふれる缶バッジを完成させていきました。創造力をのびのびと発揮し、ものづくりを楽しんでくれた様子が印象的でした。

前年に続き二度目の参加になりましたが、まんが館のことも身近に感じていただくきっかけになりました。



まんがと私



やなせたかし先生

大好きマジンジャン

Tokyo Tomo

「なにをして生きるのか」

私が11歳の頃、地元の富山にまんが家・やなせたかし先生が招かれ、コンサートが開催された。レインボー柄の巨大な傘を回して登場し、力強く自作の歌を歌うエンターティナー・やなせ先生の姿に圧倒され、ファンになった。

それから年月が流れ2019年、初めての四国旅で訪れた念願のやなせたかし記念館に魅了された私は、翌年高知へ移住。同記念館を運営する財団の学芸員として、「コロナ禍のおうち時間に楽しめる「やなせ」のマジックショー」動画の制作に携わったり、マジックやサーカス芸を描いた作品の展覧会を企画したりした。

その後、ドイツの劇場から長期公演オファーを受け渡独、2021年秋より現地でショーに出演した。サーカスが盛んな旧ソ連圏をはじめ、各国から招聘されたサーカスアーティストが出演する、コメディをテーマにしたショーだ。しかし折しもコロナ禍真っ只中。ショーは休演が続き、さらに翌年2月には誰も予想しなかったロシアのウクライナ侵攻が始まった。不安が広がる中、私は改めて自分の仕事の意味を実感した。ウクライナやロシア、色々な国から集まった者たちが「観客を笑わせる」ために、みんな協力して一生懸命働く、これほど尊い仕事があるだろうか。

私はアンパンマンのように空を飛んでひもじいや困っている人を助けに行くことはできない。だが、混迷する社会の中で、エンターテイメントの重要性は高まっている。その力を信じて、少しでも楽しく希望ある明日をつくるために仕事をしていきたい。

新館長からのごあいさつ

横山隆一記念まんが館 館長 池島正敏

今年4月1日付で横山隆一記念まんが館長を拝命しました池島正敏です。私は、2年前の令和5年から公益財団法人高知市文化振興事業団事務局長として従事しており、まんが館の業務は担当者ではありませんが少なからず関わってきました。その中で感じましたのが、まんが館の事業は子どもが参加するものが多く、とても魅力的だということです。例えば、夏休み中に開催する「めざせ！まんが職人」は、参加する子どもたちが自由に発想してテーマ作品に挑戦し、楽しみながら取り組む姿がとても印象的でした。この点において、まんが館は、とても自由で説得力のある素材だと思えました。私は行政出身で、これまで「まんが」とは少し距離のあるところでした。私を行政出身で、子どもや若者たちを対象とした事業はともや甲斐を感じます。

また、まんが館は横山隆一先生の業績を顕彰し、後世に伝えていくことを目標としています。現在開催中の「伝『やなせたかしと横山隆一』展」では、やなせ先生が「横山隆一先生はほくの太陽だった。」と記した色紙にとても感銘を受け、これから少しずつではありますが、横山隆一先生の魅力を勉強し伝えていきたいと考えています。

まんが館は開館して20年を過ぎ、歴代館長のご功績等により、活動の道筋はある程度定まっていると思っております。この道を職員と一緒にしっかりと歩みながら、多くの方に横山隆一記念まんが館をご利用、ご観覧していただくことを目指し、各種事業に取り組んでいきたいと考えています。これからも皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

行事報告 REPORT

「これが漫画！展」総合開会式

開催日 ● 2025年5月24日(土) 9:00~11:00
場所 ● 湯前まんが美術館 エントランスロビー

公立美術館共同巡回展「これが漫画！展」の総合開会式が熊本県湯前町の湯前まんが美術館にて行われました。実行委員長の湯前まんが美術館長の挨拶から始まり、湯前町長、一般財団法人地域創造から祝辞が述べられました。その後行われたテープカットで、1年を通じた巡回展がスタートを切りました。開会式の後は、展示室に移動し、各館の学芸員による展示解説が行われました。当館での開催は9月13日(土)から11月4日(火)です。おたのしみに。



行事報告 REPORT

「こまちさん＆MEGAマン研」開催!

こまちまんがフェスティバルの関連イベント「こまちさん＆MEGAマン研」と「MEGAマン研」が今春も開催されました。

3月1日(土)・2日(日)、「土佐の「おきゃく」の商店街イベントの一つとして参加している「こまちさん」では、缶バッジなどを作ることができる恒例の体験コーナーが設けられました。参加者は高知ゆかりのキャラクターがデザインされた缶バッジや、フラ板でオリジナルキーホルダーなどを作った、創造的な時間を過ごすことができました。

また、4月26日(土)・27日(日)には、「まんがを描く楽しさを伝える」ことを目的としたイベント「MEGAマン研」が開催されました。まんがの描き方やストーリー作りの指導のほか、初対面の参加者同士と一緒に絵を描くなど、研究会ならではの賑わいを見せていました。次回は10月に開催予定です。これからまんがを描いてみたい、という方もぜひご参加ください。

トピックス TOPICS

桜の花がほほ笑む

例年きれいな花を咲かせている「フクちゃん桜」は、鎌倉の横山邸にあった八重桜を接ぎ木して植樹された桜です。県内ではかるぼーとの他、牧野植物園、星ヶ丘アートヴィレッジ、高知追手前高等学校、はりまや橋小学校に植樹されています。



フクちゃん桜とソメイヨシノ

「フクちゃん桜」が咲く頃に開催していた「花見の宴」は、県内外のまんが関係者が集つてイベントでしたが、コロナ禍以降は開催できていません。少し寂しい気もしますが、時代の流れなのかもしれません。今年も、ソメイヨシノの開花とタイミングが合い、ハーモニーを奏でて通りすがりの人たちが、お花見の人たちの目を楽しませていました。

館のご案内

開館時間 9:00~18:00
休館日 毎週月曜日(祝日・振替休日の場合は開館)
年末年始(12月28日~1月4日)

常設展示観覧料

一般410円
団体(20名以上)320円・65歳以上200円・高校生以下無料
身体障害者手帳(1、2級)、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方とその介護者(1名)は200円

お問い合わせ先

〒781-9529 高知市九反田2-1
高知市文化プラザかるぼーと内
横山隆一記念まんが館
TEL:088-883-5029
FAX:088-883-5049
URL: <https://www.kfca.jp/mangan/>
E-mail: mangan@kfca.jp



横山隆一記念まんが館へは、高知市文化プラザかるぼーと3階の入口よりご入場ください。

新着図書(2025年2月~4月)

高知出身まんが家

『アテはテンブラ カモカナ!!』 2~6巻 加茂加奈
『パワハラ限界勇者、魔王軍から好待遇でスカウトされる ~勇者ランキング1位なのに手取りがゴミ過ぎて生活できません~』1~3巻 島崎勇輝(作画)、日之影ソラ(原作)
『ゆるめた』5巻 こかもむ

オススメピックアップ!

『カグラバチ』1~6巻 外園健
『じゃあ、あんたが作ってみよう』1~2巻 谷口菜津子
『呪術廻戦』29~30巻 芥見下々
『ルックバック』 藤本タツキ

その他、続々入荷中!

フク話内

WEBマンガ誌コミックパンチKaiにて「怪獣自衛隊」を絶賛連載中の高知県出身のまんが家、井上淳哉先生の携わるAC(アーケード)シューティングゲーム、「アークガレットEXA LABEL」が発表され、基板が予約販売中とのことですが、本作が稼働可能なexA(エクス)筐体が私のよく行くゲームセンターにはないのが少し不本意ですが…シューティングゲームといえば今年には「まものろ」「カラス」とマニアックな移植作品が発売予定でとても楽しみです。井上淳哉先生の作品は、現在コミックパンチKaiにて「おとぎ奉り」「BTOOOM!」「怪獣自衛隊」が毎週更新されているほか、まんが館ライブラリーでも閲覧可能です。(mk)